

(法第28条第1項関係様式例)

27年度事業報告書

H27年 04月 01日から 28年 03月 31日まで

特定非営利活動法人

なごみの家

1 事業の成果

小規模多機能型居宅介護 及び 介護予防型小規模多機能型居宅介護にて、独り暮らしや介護困難の方々を家族に代わり 又は 家族を支え、地域の中で最期まで支え続けている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動法人に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の 金額(千円)
小規模多機能型居宅介護及び 介護予防 小規模多機能型 居宅介護	特定非営利 活動法人 なごみの家の 運営	H27.4/1 ~ 28.3/1	なごみ の 家	27名	定員25名 独り暮らしや 介護困難の 方々	86,065

平成27年度 (H.27年4月～H.28年3月)

NPO法人:なごみの家

## 事業報告書

### 1. 事業の成果

平成18年5月 介護保険指定「小規模多機能型居宅介護」として指定を受け、開設いたしました。

『通い・訪問・泊まり』を組み合わせた在宅介護サービスで、“住み慣れた地域で、馴染みの人たちに囲まれて人生を終わりたい”と願う方達を支える制度です。

[運営理念] 玄関に掲示しております。

「高齢者が住み慣れた環境で、ご家族をはじめ、なじみの方達の中で暮らし続けるため、中心となるご家族と共に考え、支えてゆく役割を担っています。」

「なごみの家では、あなたが出来ないことではなく、出来ることを大切にしたいと思っています。

お一人お一人の状況に、ていねいに寄り添う私たちと一緒に、歩いて行きましょう」

[利用者]

定数25名に対し現在登録者25名で、介護度の高い方が多いため、利用日数が多く、レベルの高い充分なケアのためには、下記の職員数となっています。

[スタッフ]

看護師3人(ケアマネージャー)・介護福祉士9人・ヘルパー2級7人・補助スタッフ3人・調理4人  
常勤12人・非常勤15人・計27名

[地域との交流・運営推進会議]

※ 地域の見識者の方達や地域包括センター・ご家族の出席による運営推進会議も、定期的に(2ヶ月1回)開催し活動を理解していただき、色々な場面でご協力をいただいております。

※ 公民館や町内会活動の中で

利用者は、ふれあいサロンに毎月曜参加して、地域の方達との交流を楽しんでおります。

※ 人権フェスタ・夏祭り・防災訓練・町内清掃(毎月15日)・福祉講座 等

地域の催しに、ご利用者と一緒に参加し、地域に溶け込んでおります。

※ 町内会の役員(人尊協)として活動し、地域との連携の中で「入部には なごみさんがあるから安心！」と評価を頂いております。

※ H27年春から 早良区社協との協力で「三郎丸町内会ふれあいネットワーク」を発足し、独り暮らし高齢者の見守り活動をしています。

※ 地域福祉情報誌「さわらの風」を季刊で発行し、主として地域で住まい続けるための情報や介護保険についてがテーマです。

※ 地域包括センターとの連携も充実して、各センターから利用者の依頼があります。特に身寄りが全くない方の処遇に苦慮され「なごみの家だったら、なんとかしてくれる」との信頼が大きいようです。

※ 現在14人の方が近くのアパートに転居して来られ「介護保険で、最後までお願いします」とのニーズに応えるべく努力しております。又、介護保険外の高齢者も アパート入居の保証人となり、見守り活動をしています。

#### [自己評価・外部評価]

過去 外部評価と情報公開の調査を受けて、高い評価をいただけていました。調査員の方の「高齢者とスタッフの生き生きとした笑顔を見ると、すべてが解ります」とのコメントで、ご家族のアンケートの結果もすべて感謝の言葉だったとのことでした。

平成27年より 法令改正により、外部評価から 地域評価に変わり、地域活動を着実に充実させてきた当法人にとっては 幸いな状況でした。

#### [運営]は

開設11年目に入り、ナースであり ケアマネージャーである代表が現場の中心で働いており、スタッフ全員がすべての仕事を分担して進めております。

スタッフの教育を重点に置いて 介護福祉士国試に 向けて2名とケアマネ受験目指し2名 研修中です。

#### [利用者]は

ご利用者は、ほとんどの方が施設や病院には合わない身体レベル・認知症が重度の方ですが、「なごみの家」の『高齢者の尊厳を守り、大家族で生活しているような家庭的なケア』により、みるみるお元気になる様子は、ご家族や周りの方、そしてケアする私たちですら驚く位です。

なごみには、高齢者医療の経験豊かなナースが3名在籍しており、Drとの連携やスタッフ間の情報共有など、看とりは勿論、医療の管理も細やかにしており、病院に入院することなく 終末ケアまで 取り組んでおります。

この9年間で 20名の方の看とりをさせて頂き、ご家族にも「なごみのお陰で、穏やかな最期で 大往生でした」と喜んで頂きました。そしてその遺族の方々のご紹介で「是非 なごみで最期まで」とのご希望で御相談にこられます。

#### [社会貢献]

- ① 平成28年3月 にのさかクリニックのボランティア活動 バングラディッシュに看護学校建設のための資金援助に 5万円献金。それと募金箱を置き、毎月5千円前後で集約して、献金しております
- ② 福岡歯科大付属 福祉短大生の実習を受け入れ。 福岡市立田隈中学校の実習生受け入れ。
- ③ NPOの活動として、近所の独り暮らし高齢者に、配食活動をしております。
- ④ 職員は 全員地域採用で、特に高齢者を採用(13名)し、体力 能力に配慮したシフトで、無理なく 生き活きと働いています。
- ⑤ 新しい展開として H28.4月より、四箇田団地 テナントに コミュニティスペース「しかたの茶の間」を開設しました。団地の衰退と高齢化の中で、高齢者も 障害者も 子どもも含め、みんなで集える場所の必要性を考え開設しました。現在83歳の男性を講師として「おりがみ教室」「ちぎり絵教室」食進会メンバーによる 昼食会の企画 老人クラブ主催の「七夕まつり」「いきいきセンター」からの出張による 相談会等「しかたの茶の間」を中心にして コミュニティ活動は、広がっています。また、NPO法人「ドネルモ」との連携で、地域活性化の取り組みを始めました。

平成27年度 活動計算書  
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人なごみの家  
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費	0	0
2. 受取寄附金 受取寄付金	0	0
3. 受取助成金等 福祉車輛購入事業補助金 雇用開発助成金等	2,420,000 450,000	2,870,000
4. 事業収益 介護事業収益		94,896,043
5. その他収益 家賃収入 受取利息 貸倒引当金戻入 雑収益	5,251,705 4,408 88,400 2,408,611	7,753,124
経常収益計		105,519,167
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費 給料手当 法定福利費 通勤手当 中退共掛金 福利厚生費 人件費計	55,016,761 6,215,334 2,068,000 546,060 83,055 63,929,210	
(2) その他経費 給食材料費 貸倒引当金繰入 消耗品費 事務用品費 地代家賃 保険料 修繕費 減価償却費 旅費交通費 通信費 水道光熱費 車輛費 租税公課 接待交際費 新聞図書研究費 衛生費 委託サービス費 雑費 支払利息 その他経費計	3,241,666 84,000 3,406,789 226,419 7,880,738 472,842 401,397 2,104,171 135,291 517,967 2,063,302 395,856 113,957 278,066 125,295 43,522 168,298 241,815 234,748 22,136,139	
事業費計		86,065,349
2. 管理費		
(1) 人件費 役員報酬 法定福利費 福利厚生費 人件費計	5,040,000 248,250 295,333 5,583,583	
(2) その他経費 事務用品費 消耗品費 地代家賃 保険料 修繕費 減価償却費 旅費交通費	11,301 103,236 52,235 984,141 12,163 63,762 4,099	

通信費	15,695		
水道光熱費	46,184		
車輛費	11,995		
広告宣伝費	71,856		
租税公課	30,053		
接待交際費	176,846		
新聞図書研究費	3,796		
会議費	5,084		
衛生費	1,318		
寄附金	70,000		
雑費	1,750,279		
支払利息	7,113		
その他経費計	3,421,156		
管理費計		9,004,739	
経常費用計			95,070,088
当期経常増減額			10,449,079
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計		0	0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計		0	0
税引前当期正味財産増減額			11,891,516
法人税、住民税及び事業税			-1,580,736
当期正味財産増減額			8,868,343
前期繰越正味財産額			24,616,379
次期繰越正味財産額			33,484,722

(法第28条第1項関係)

### 計算書類の注記

#### 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
無し
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物については定額法によっております。
- (3) 引当金の計上基準
  - ・貸倒引当金  
金銭債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権は税法基準による方法により、貸倒懸念債権等特定の債権については債権の内容を個別に検討する方法により所要額を計上しております。
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理  
無し
- (5) ボランティアによる役務の提供  
無し
- (6) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

#### 2. 会計方針の変更

無し

#### 3. 事業別損益の状況

無し

#### 4. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

無し

#### 5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

無し

#### 6. 用途等が制約された寄附金等の内訳

無し

#### 7. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	2,483,460	5,080,498		7,563,958	△1,181,056	6,382,902
建物附属設備	8,316,540	2,565,015		10,881,555	△4,917,468	5,964,087
構築物	378,000			378,000	△356,128	21,872
車輜運搬具	3,111,150	2,692,900		5,804,050	△3,798,692	2,005,358
器具備品	268,000	370,440		638,440	△293,476	344,964
リース資産	0	505,440		505,440	△42,120	463,320
無形固定資産	0			0	0	0
投資その他の資産						
前払保険料	2,058,615	363,285	2,421,900	0	0	0
リサイクル預託金	10,550	12,750		23,300	0	23,300
保証金	10,000	449,992		459,992	0	459,992
敷金	645,000	216,704	0	861,704	0	861,704
合計	17,281,315	12,257,024	2,421,900	27,116,439	10,588,940	16,527,499

#### 8. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	5,362,000	25,000,000	2,324,000	28,038,000
合計	5,362,000	25,000,000	2,324,000	28,038,000

9. 役員及びその近親者との取引の内容  
役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書) 地代家賃	7,932,973	1,680,000
活動計算書計	7,932,973	1,680,000
(貸借対照表) 長期借入金	28,038,000	0
貸借対照表計	28,038,000	0

10. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために 必要な事項

- ・ 現物寄附の評価方法

無し

- ・ 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費については従事割合に基づき按分しています。

- ・ 重要な後発事象

無し

- ・ その他の事業に係る資産の状況

無し

## 平成27年度貸借対照表

平成28年3月31日現在

(特定非営利活動法人なごみの家)

科目	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	825,200	
普通預金	33,155,888	
未収入金	14,040,900	
前渡金	7,080,000	
貸倒引当金	-84,000	
流動資産合計		55,017,988
2 固定資産		
建物	6,382,902	
建物附属設備	5,964,087	
構築物	21,872	
車輜運搬具	2,005,358	
器具備品	344,964	
リース資産	463,320	
引当預託金	23,300	
保証金	459,992	
敷金	861,704	
固定資産合計		16,527,499
資産合計		71,545,487
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	6,559,479	
未払法人税等	1,580,000	
預り金	772,062	
流動負債合計		8,911,541
2 固定負債		
長期借入金	28,038,000	
長期リース債務	463,320	
預り敷金	637,904	
預り保証金	10,000	
固定負債合計		29,149,224
負債合計		38,060,765
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		24,616,379
当期正味財産増減額		8,868,343
正味財産合計		33,484,722
負債及び正味財産合計		71,545,487

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。



## 平成27年度財産目録

平成28年3月31日現在

(特定非営利活動法人なごみの家)

科目		金額 (単位:円)	
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	825,200	
普通預金	佐賀銀行早良西支店	17,054,456	
普通預金	佐賀銀行野芥支店	16,101,432	
未収入金	国保連介護給付費2,3月分	11,543,039	
	入居者介護利用料2,3月分	2,497,000	
	その他	861	
前渡金	(有)住宅リフォーム、サビース他	7,080,000	
貸倒引当金		-84,000	
流動資産合計			55,017,988
2 固定資産			
建物	リフォーム、内装	6,382,902	
建物附属設備	電気水道、衛生設備、防火装置	5,964,087	
構築物	歩道工事	21,872	
車輛運搬具	乗用車、福祉車輛	2,005,358	
器具備品	テレビ、エアコン	344,964	
リース資産	カー複合機	463,320	
敷金	大東建託(株)敷金他	861,704	
保証金	(株)エシプロ福岡LPガス	459,992	
リサイクル預託金	車輛リサイクル料金	23,300	
固定資産合計			16,527,499
資産合計			71,545,487
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	3月分職員給与他	6,559,479	
預り金	源泉所得税、社会保険料他	772,062	
未払法人税等	法人税、県、市民税等	1,580,000	
流動負債合計			8,911,541
2 固定負債			
長期借入金	佐賀銀行野芥支店	3,958,000	
	日本政策金融公庫	24,080,000	
長期リース債務	(株)クレディセゾン	463,320	
預り敷金	入居者分敷金他	637,904	
預り保証金	入居者分保証金	10,000	
固定負債合計			29,149,224
負債合計			38,060,765
正味財産合計			33,484,722

## (備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 前事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 なごみの家	代表者	篠木 珠枝	法人・ 事業所 の特徴	平成18年に開設し、他の事業所では受け入れが難しい方々が、なごみの家を頼って来られています。家庭の状況や一人暮らしの将来を共に考え寄り添い、最後の日迄この地域に住まい続けることを目指しています。また働き易い職場環境作りにも努めており、30代～86歳までの多様な世代がいる強みを生かし、従業員一人ひとりの事情に合わせた柔軟なシフト組みを実践しています。6年間離職者なし。
事業所名	なごみの家	管理者	篠木 珠枝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	2人	1人	1人	1人	6人	人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	—	—	利用者やご家族様への細やかな気遣いができている。 (なごみ通信)利用者一人ひとりへのお便りは凄く良いですね。遠方に住む親類には特に良いです。	日々のサービス支援はもちろんの事、今後も地域イベントの積極的な参加や協力を継続し、「地域の安心拠点」になるよう努めていきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	—	—	手狭ではあるがアットホームで入りやすい。 日当たりが良く、庭には沢山の花があり明るいイメージ。	民家改修型の狭い施設ではあるが、利用者とスタッフが寄り添い、皆で和気あいあいと過ごしている。この雰囲気を維持していきたい。
C. 事業所と地域のかかわり	—	—	自治協・公民館の協力により地域福祉情報誌「いるべの風」校区全世帯配布。 人尊協や地域イベントにも積極的に参加。地域貢献している。	今後も自治協や町内会と協力し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりをすすめていきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	—	—	いつも利用者と一緒に地域行事に参加している。 利用者以外の地域の方々の見守り活動や、相談支援もしている。	今後も、毎日の散歩や地域イベントの積極的な参加を継続。 地域の方々の見守りや支援も継続していきたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	—	—	分かり易く書類が作られている。 金銭面の問題等も具体的に説明してくれるので分かり易い。 地域の話題も出ている。	ふれあいネットワークでは、町内会・社協・なごみが協力し地域の見守り活動を行っている。今後も地域課題の解決につながる会議にしていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	—	—	毎年校区防災訓練に参加している。日頃から地域の方の見守り活動を行っているので、災害時は近隣の方は非常に助かると思う。	事業所の防災訓練には事業所近隣の方のみお誘いしていたが、今後は幅広い方々に施設の事を知って頂く為にも運営推進会議のメンバーの方々もお誘いする。



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 11 月 8 日 (9:00~12:00)
------------------	-----	-------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	篠木、岡田、石井、中上、田中、木下、真名子、松谷、森本、小林 (朱)、小林 (和)、水野、白倉、坂口、宮川
--------------------	------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	8			15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	2		15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	8	3		15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	8	3		15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○初回面接時よりアセスメント～ケアプランに向けて情報収集とミーティングを重ねているが、本人と家族の状況を理解し、今何が必要で何を求めているか等、共感的理解を第一としている。</p> <p>○慣れない状況での本人・家族の不安・期待に配慮し、初期支援時は重点的にスタッフ全員で情報を集めモニタリング→プラン設定→実践していく事で信頼関係が出来ていく。その中で、本人の笑顔が増え元気になっていく様子を見る事が、スタッフの喜びになっている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○初期の本人・家族の思いと状況を汲み取り、信頼して頂く面接技術は、経験・資質等の関係もあり難しい。最も重要な部分なので、つい管理者や慣れたスタッフが進めてしまう傾向がある。</p> <p>○変則勤務、パート職等の勤務体制の関係もあり、情報・プランが毎日のケアに追いつかないことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>○初回面接から始まる初期支援の面接等に、不慣れなスタッフが同席して面接技術を習得していく。</p> <p>○初期支援シート、アセスメント等の内容書式を見直す。生活歴・本人の思い等を詳細に記入できる書類を追加する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 8 日 (9 : 00 ~ 12 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 篠木、岡田、石井、中上、田中、木下、真名子、松谷、森本、小林 (朱)、小林 (和)、水野、白倉、坂口、宮川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	5	4	6		15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	5	6		15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	7	5		15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	11	1		15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○利用者の多くが中～重度の認知症・精神障害・知的障害があり、具体的な目標を知る事は難しい面もあるが、日常の些細な変化・いつもと違う言動を見逃さず、モニタリング→プラン→実践を繰り返している。</p> <p>○なごみに会うまでが不本意な生活をしてきた方が多く、家族・後見人・地域等と協働し生活を整えて行く中で「今が一番幸せ!もうどこにも行かない!!」と言葉に出す方も多く“穏やかな暮らし”をゴールに支援している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○体調、心身の変化も有り、本人の状況・思い (目標) も日々変化して行くと思われるが、潜在的ニーズを完全に読み取るまでは出来ていない。また、残された能力を引き出せない面もある。</p> <p>○日常の業務や生活支援に時間を多くとられ、個々の利用者とゆっくり関わり、対話する時間が足りないと感じる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>○先回りしてニーズを解決しない。</p> <p>○対話の時間を増やして残された能力を引き出し、些細なことでも良いから本人が目標を決めて、出来た時の達成感・満足感を感じてもらう支援をする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 8 日 (9 : 00 ~ 12 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 篠木、岡田、石井、中上、田中、木下、真名子、松谷、森本、小林(朱)、小林(和)、水野、白倉、坂口、宮川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	11		15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	4	2		15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	11			15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	9			15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	7	7	1		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○他の施設を出されたり又はケアの質に不満があり、なごみを選んでこられた方が多く、それだけに真剣に本人の状況を知り思いに寄り添い、的確なケアを実践する努力をしている。</p> <p>○情報収集・ミーティング・モニタリングには時間をかけて詳細に記録をとり共有している。</p> <p>○食事・入浴・排泄のケア方法も個々の状況に合わせてプランし、実践していく事で、生き生きと元気になれる。</p> <p>○多くの病気が重なる高齢者の体調管理は難しく、早めに小さな変化を見つけ対応していく事で、入院に至る事は非常に少ない。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○生活歴はフェイスシートとアセスメントで把握しているが、本人の事を「もっと知りたい」という思いは、スタッフにより差がある。</p> <p>○本人が思いを口にする前に、スタッフが問題提起して解決することがあり、利用者の深い思いにしっかり寄り添う事は不足している。</p> <p>○スピード・効率・完璧さを求める場面があり“待つ”事の必要性と、残された能力を引き出す事が不足している。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>○スタッフの介護レベルを引き上げ統一する。</p> <p>○実現可能なカリキュラムをつくり、内部研修を充実させる。</p> <p>○今まで以上に外部研修に積極的に参加して、それを伝達講習する中で研修の成果を明確にして実践に生かしていく。研修を受けるだけでは不十分だという事を、しっかり各々が自覚する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 11 月 8 日 (9:00~12:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	篠木、岡田、石井、中上、田中、木下、真名子、松谷、森本、小林(朱)、小林(和)、水野、白倉、坂口、宮川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	7	5		15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	11	2		15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	11	3		15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	6	6		15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○なごみの近くに転居して来られた方達は入部の住民として、新たな暮らしの中でネットワークが出来ている。</p> <p>○なごみのスタッフが地域活動の役員を引き受けて、利用者と共に色々な活動に参加している。</p> <p>○ふれあいサロン・人権学習・人権フェスタ・毎日の散歩の中で、地域の方との井戸端会議や庭でとれた果物を頂く等の、おすそ分け文化の復活を目指している。</p> <p>○通所の方は連絡帳を使い、家族⇄なごみとの各々の様子を詳細に記録し連携出来ている。</p> <p>○以前暮らしていた馴染みの地域・古い商店街を訪ね、関係が切れないよう支援するケースもある。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○通いの方の地域での状況を聞き取りをしても、介護が必要になった 80~90 代の方達の殆どは、地域とのつながりは切れて、友人知り合いは地域に殆んど居ないのが現実である。特に小規模多機能を利用していれば民生委員も安心して手を離している。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>○自宅の生活の中で、切れかかった地域とのつながりの糸をたぐり、結び直す働きが必要と思える。</p> <p>○家族と地域の関わりを知るために、本人と共に先ず自宅周辺を歩く事から始めてみたい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 11 月 8 日 (9:00~12:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	篠木、岡田、石井、中上、田中、木下、真名子、松谷、森本、小林(朱)、小林(和)、水野、白倉、坂口、宮川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	9	2		15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	6			15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	6			15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	9			15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○「最期まで地域で」を目標に、家族・医療と連携しながら「看取り」まで支援している。その為のプランは細かく、実践→モニタリングの繰り返しで常にミーティングしている。</p> <p>○変則的なフルタイムで働く家族のシフトに合わせ、1ヶ月の予定表を作るが、それでも本人の体調変化・家族の残業等により、急遽変更(宿泊)することも多々ある。そこまで柔軟に対応しなければ、在宅で生活継続することは難しい。</p> <p>○各々の事情により「地域資源」は異なるが、ふれあいサロン・地域イベント・配食サービス・行きつけの店・SOS ネットワーク等をプランに入れて活用している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○各々の方の地域資源の情報が不足していたり、自宅での生活状況が細やかに把握できず、本人の能力を十分に引き出せないケースもある。</p> <p>○家族はなごみの支援に安心し、頼りきっている面もあり、忙しい家族とのケアの統一性が不足しているケースもある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>○自宅訪問時、家族の生活状況を細かく聞き取り、本人と家族を支える情報として活用する。</p> <p>○家族が出来る事や、本人が地域で生活するための情報を明確にする。</p>	



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 11 月 8 日 (9 : 00～12 : 00)
6. 連携・協働	メンバー	篠木、岡田、石井、中上、田中、木下、真名子、松谷、森本、小林 (朱)、小林 (和)、水野、白倉、坂口、宮川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか？	3	8	4		15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5	8	2		15
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか？	9	3	3		15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	6	9			15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○利用者は地域での暮らしを継続するために、医療・訪看・訪問マッサージ等との連携で体調を整え、地域の活動に参加して生き生きと暮らしている。</p> <p>○包括支援センター・民生委員等を中心とした地域ケア会議で情報交換し、高齢者にとって最も適切な環境を選択できるよう支援している。</p> <p>○看取りケアを目指す老健の依頼で研修を受け入れ、合同研修を実施して、その後看取りまで実践出来たと感謝されている。</p> <p>○社協、自治会、なごみの家の三者で「ふれあいネットワーク」を組織して、介護保険外の孤立した高齢者の見守り活動をしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○活動にスタッフ全員が常に関わる事が出来ない。</p> <p>○定期的に訪問して下さるボランティア (ハンドマッサージ・音楽療法) や、面会に来られる家族くらいで、狭いという条件もあり積極的には受け入れていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>○地域ケア会議の日程を早めに入手してシフトに組み込み、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ全員が平等に参加できる体制をつくる。</li> <li>・参加したスタッフは内容を伝達、研修での詳細を報告する。</li> <li>・地域ケア会議関係のファイルをつくる。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 11 月 8 日 (9 : 00～12 : 00)
7. 運営	メンバー	篠木、岡田、石井、中上、田中、木下、真名子、松谷、森本、小林 (朱)、小林 (和)、水野、白倉、坂口、宮川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	4	9	2		15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	10			15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	7	2		15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	6	5	4		15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○NPO という組織の中で風通しよく、誰でもいつでも「運営」に対し「現場の介護」に対し意見が言える雰囲気がある。</p> <p>○家族や地域の方、運営推進会議で出た意見・希望は即実践している。</p> <p>○公民館を中心にしたふれあいサロン・人権学習等の活動、また地域福祉情報誌「いるべの風」の発行は好評で、良く読んで頂いている。</p> <p>○介護保険外の「ふれあいネットワーク」は社協・自治会と連携して、孤立しがちな高齢者の支援に専門職として関わり共働している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○上記の活動に、全員が関わる事が出来ていない。</p> <p>○役割分担もあるが、皆が関わるための工夫が足りない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>○地域行事予定の情報を早めにとり、シフトに職員を組み込んで行くことで、全員が関われるようにしていく。</p> <p>○行事、会議に参加した職員は、報告書を書くと同時に他の職員に確実に伝えていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 8 日 (9 : 00～12 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 篠木、岡田、石井、中上、田中、木下、真名子、松谷、森本、小林 (朱)、小林 (和)、水野、白倉、坂口、宮川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	10	1		15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	8	3		15
③	地域連絡会に参加していますか	3	4	8		15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	11	3		15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○介護職である前に、社会人として成長する必要があると常に話し合っている。朝礼時は各自 3 分スピーチで自己啓発している。</p> <p>○担当は、一ヶ月の状況を家族他に「なごみ通信」として報告しているが、大変な作業なので力がついていく。</p> <p>○資格取得、スキルアップの外部研修は、順番に参加している。地域会議と小規模ネットワークの会議にも参加研修している。</p> <p>○内部研修は研修委員を中心に 3/週 (30 分) 朝礼・終礼・モニタリング (1/月) 全員参加で実施している。</p> <p>○事故報告、ヒヤリハット報告を確実に提出し、皆で研修のテーマにして記録に残し、再発防止に努めている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○研修参加者に偏りがある。</p> <p>○伝達講習が、確実に出来ていない。</p> <p>○研修には力を入れているが、それが真のスキルアップにつながっているか確認がない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>○研修報告は確実に出ているが、それを一覧表にしていいため、書式をつくり平等に参加するための資料にする。</p> <p>○契約している損保会社のリスマネ研修を定期的にする。ヒヤリハットの報告が出たら皆で問題分析し再発防止のため、話し合いを深める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 8 日 (9 : 00~12 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 篠木、岡田、石井、中上、田中、木下、真名子、松谷、森本、小林 (朱)、小林 (和)、水野、白倉、坂口、宮川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	4	3		15
②	虐待は行われていない	12	2	1		15
③	プライバシーが守られている	6	8	1		15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	5			15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	5	1		15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○民家改造型の狭い空間であり、プライバシーの点ではリスクは大きいと思っているが、家族からは「狭いから良い！昔の家庭のようで目が行き届く。」と認めて下さる。だが常に見守りを欠かさず、問題の兆しがあれば、個別ケア（散歩や買い物等へのお誘い、マンツーマンでの対話など）で対応している。</p> <p>○金銭管理が困難な方には、社協の安心生活支援サービス（2 名）や、成年後見人制度（3 名）を利用し連携が取れている。</p> <p>○個人情報に関しては問題なく管理しており、研修等で使用する時は、本人・家族の了解を得ている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○「ちょっと待って」「～したらダメですよ」などのスピーチロックや、排泄・入浴時の誘いに大きな声で呼びかけたり、業務を優先するあまり、利用者中心のケアが出来ていない場面が時に見られる。</p> <p>○本人の安全を守るための軽い拘束（抑制帯・ミトン）は家族の了解は得ているが、漫然と継続している事があった。</p> <p>○洗面所と脱衣所が一緒のため、カーテンで仕切りをつける等の工夫はしているが、完全にプライバシーが守られているとは言えない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>○スピーチロックを防ぐためには、自分で抱え込まず、他の職員に依頼しチームケアで対応する。</p> <p>○排泄の声かけ等は、本人の耳元でさりげなく伝える配慮をする。また不適切なスタッフの対応に気付いたら、その場で注意し合えるような職場環境を作っていく。</p> <p>○拘束に関しては、拘束が必要かどうかを定期的に抑制廃止委員会で検討し、家族に報告の上、記録に残し拘束ゼロを目指す。</p>	